

第39期（平成29年3月期） 第2四半期 決算説明会資料

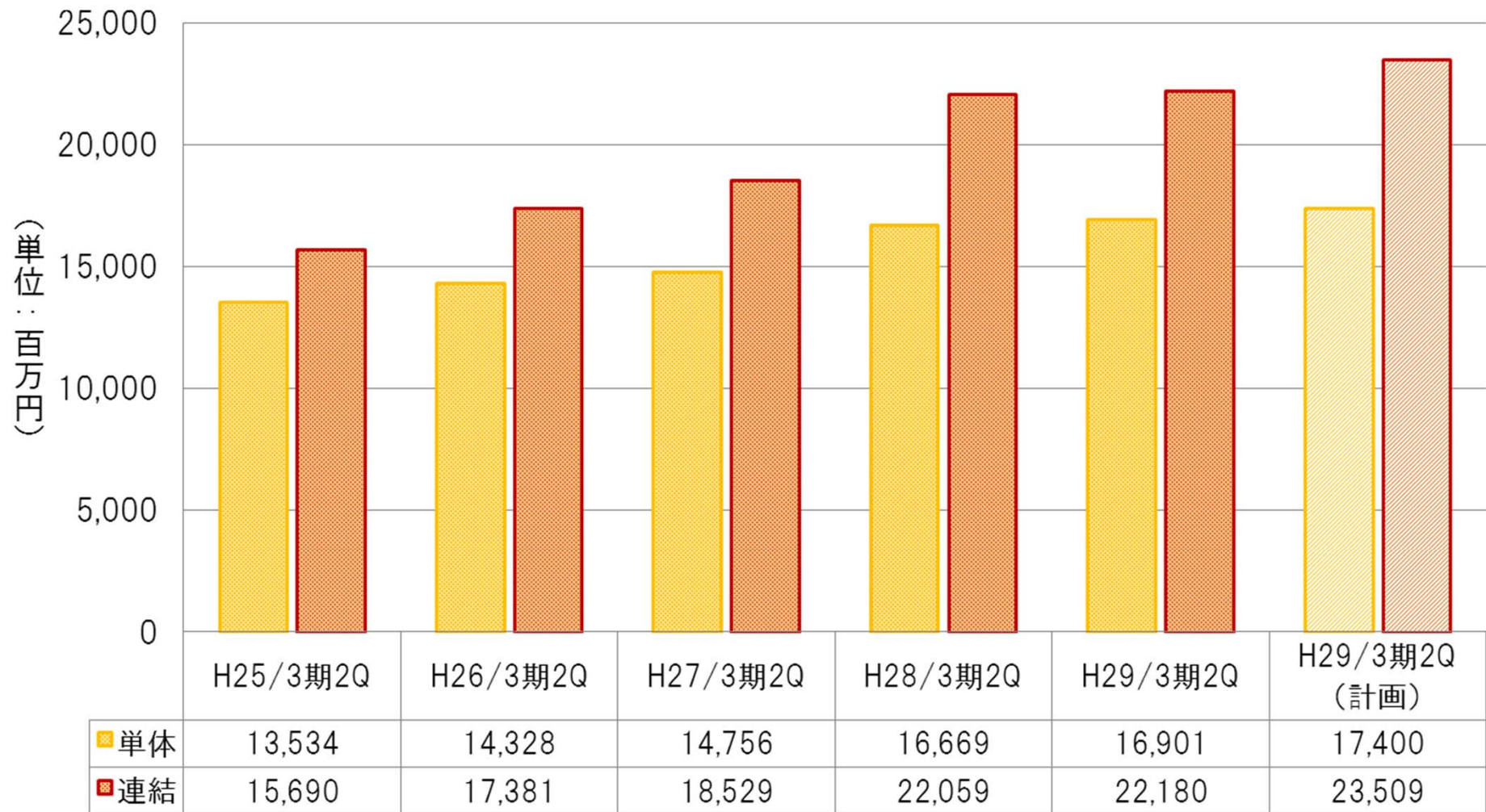
平成28年11月9日



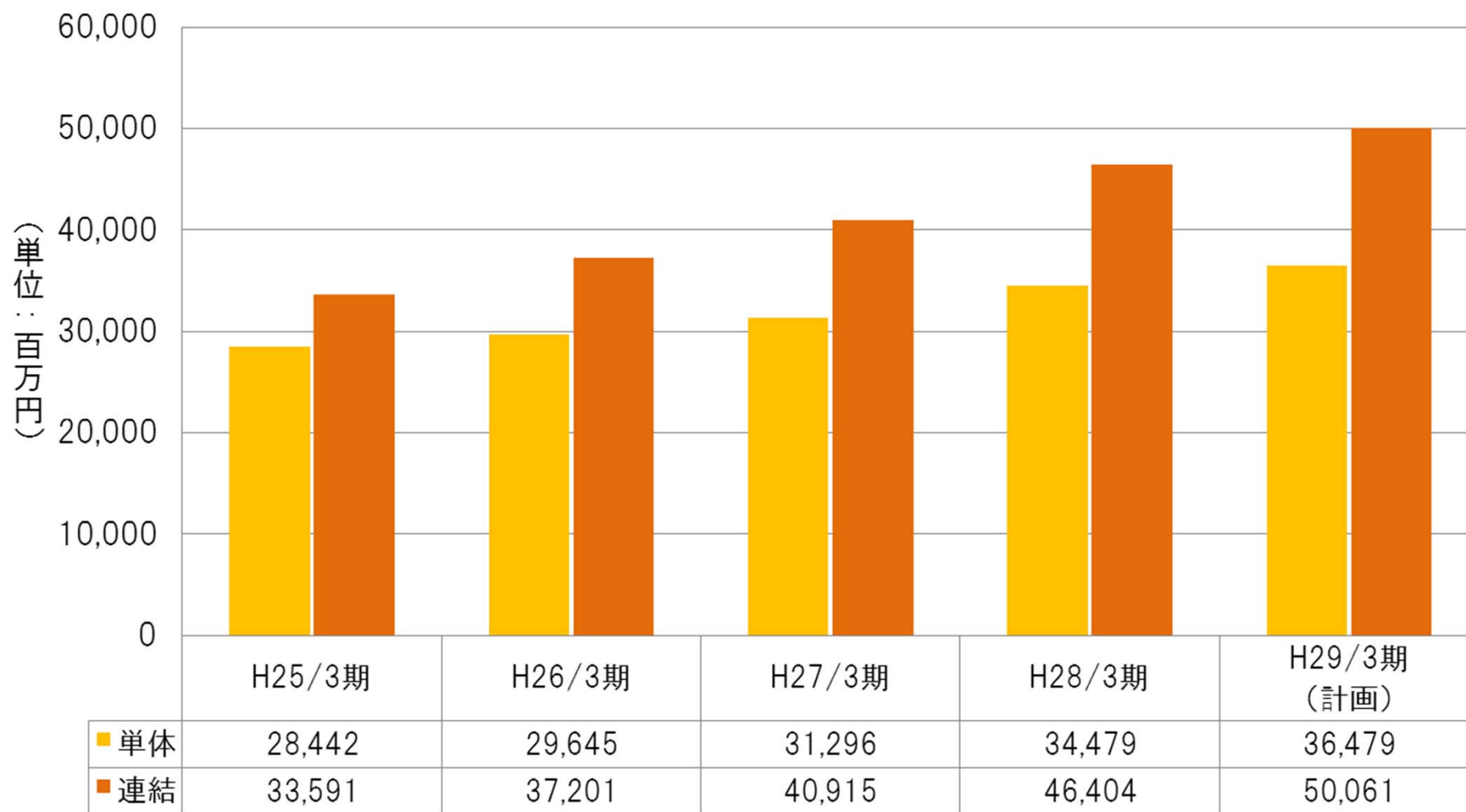
目 次

- | | | | | | |
|-----|------------------|-------|-----|-----------------|--------------|
| 02. | 売上高の推移（単体・連結） | 第2四半期 | 16. | 地域別実績 | 第2四半期 |
| 03. | 〃 | 通期 | 17. | 地域別計画 | 通期 |
| 04. | 営業利益の推移（単体・連結） | 第2四半期 | 18. | 今後の事業計画① | |
| 05. | 〃 | 通期 | 19. | 今後の事業計画② | |
| 06. | 経常利益の推移（単体・連結） | 第2四半期 | 20. | 設備投資の推移（連結・単体） | |
| 07. | 〃 | 通期 | 21. | 減価償却費の推移（連結・単体） | |
| 08. | 四半期純利益の推移（単体・連結） | 第2四半期 | | | |
| 09. | 当期純利益の推移（単体・連結） | 通期 | | | |
| 10. | 平成29年3月期 | 第2四半期 | | 単体業績の概要 | （対前年） |
| 11. | 〃 | | | | （対前年、利益変動要因） |
| 12. | 平成29年3月期 | 第2四半期 | | 単体業績の概要 | （対計画） |
| 13. | 〃 | | | | （対計画、利益変動要因） |
| 14. | アリアケグループの世界8極体制 | | | | |
| 15. | 平成29年3月期 | 第2四半期 | | 主要子会社の概要 | |

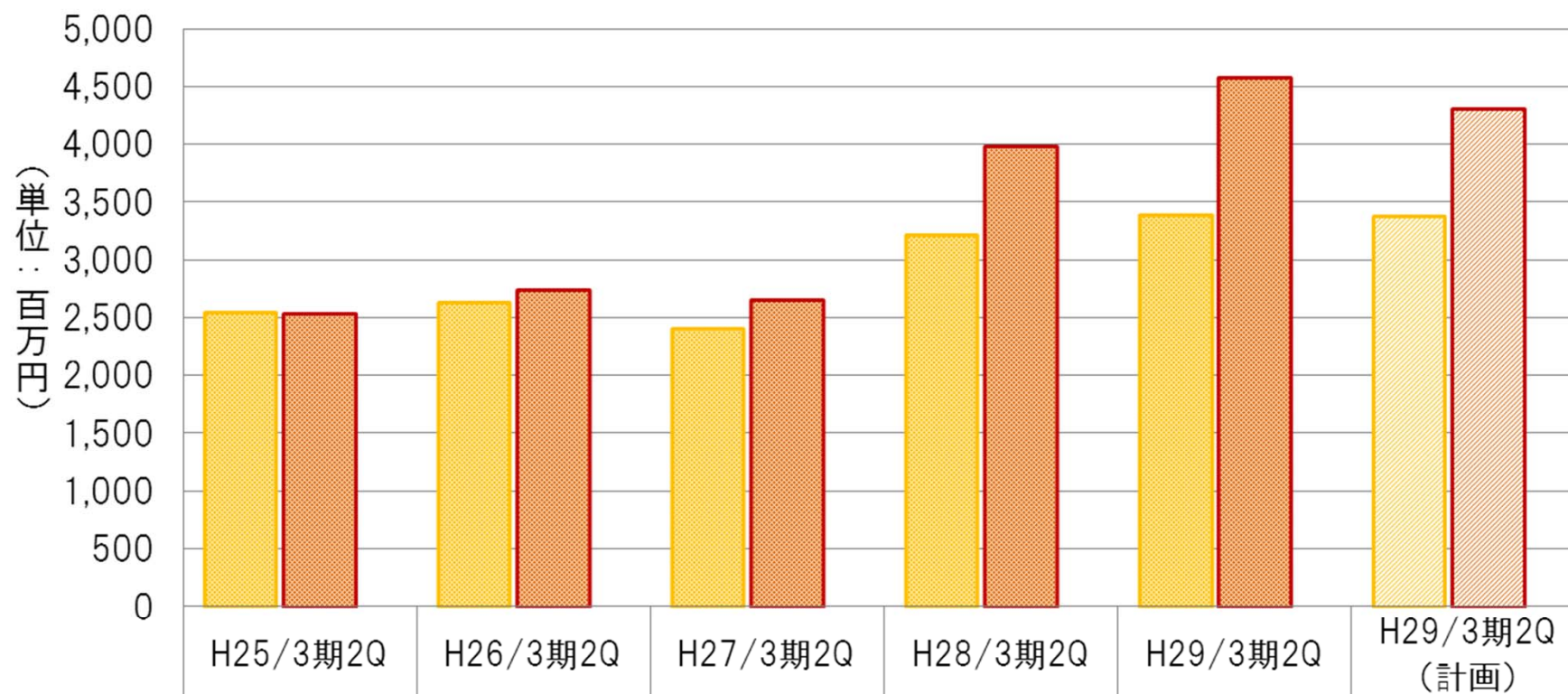
第2四半期 売上高推移（連結・単体）



通期 売上高推移（連結・単体）

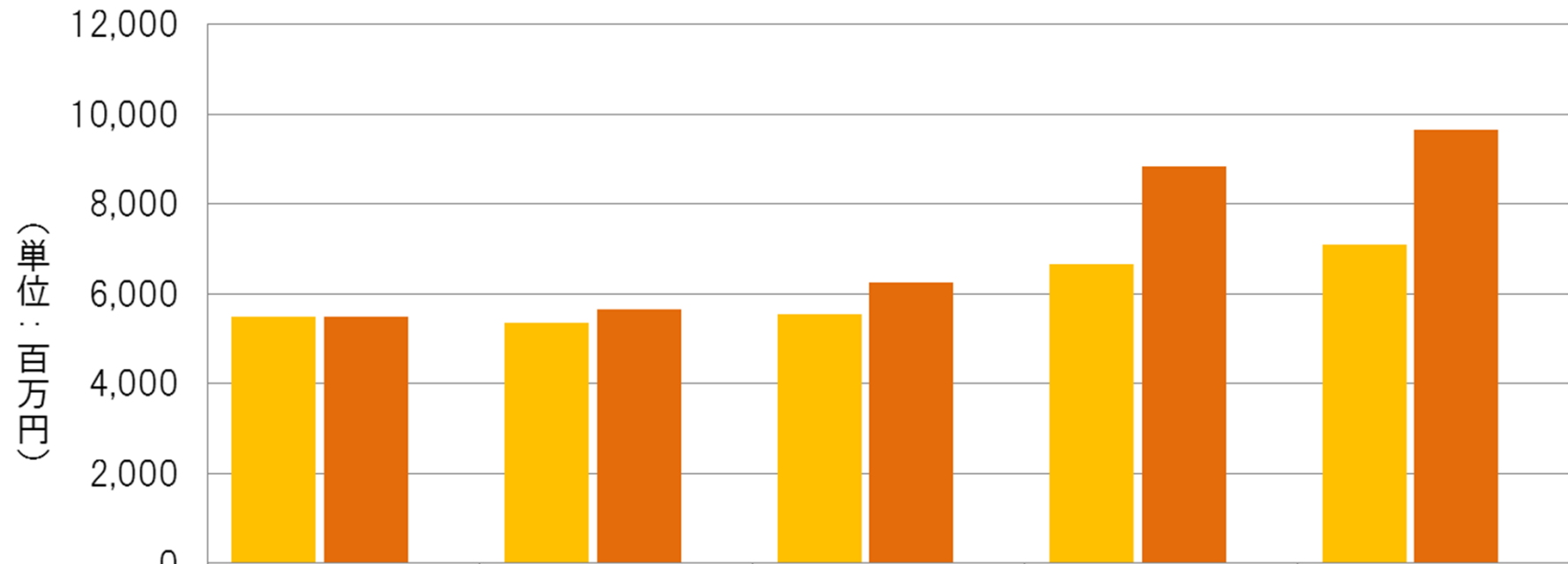


第2四半期 営業利益の推移（単体・連結）



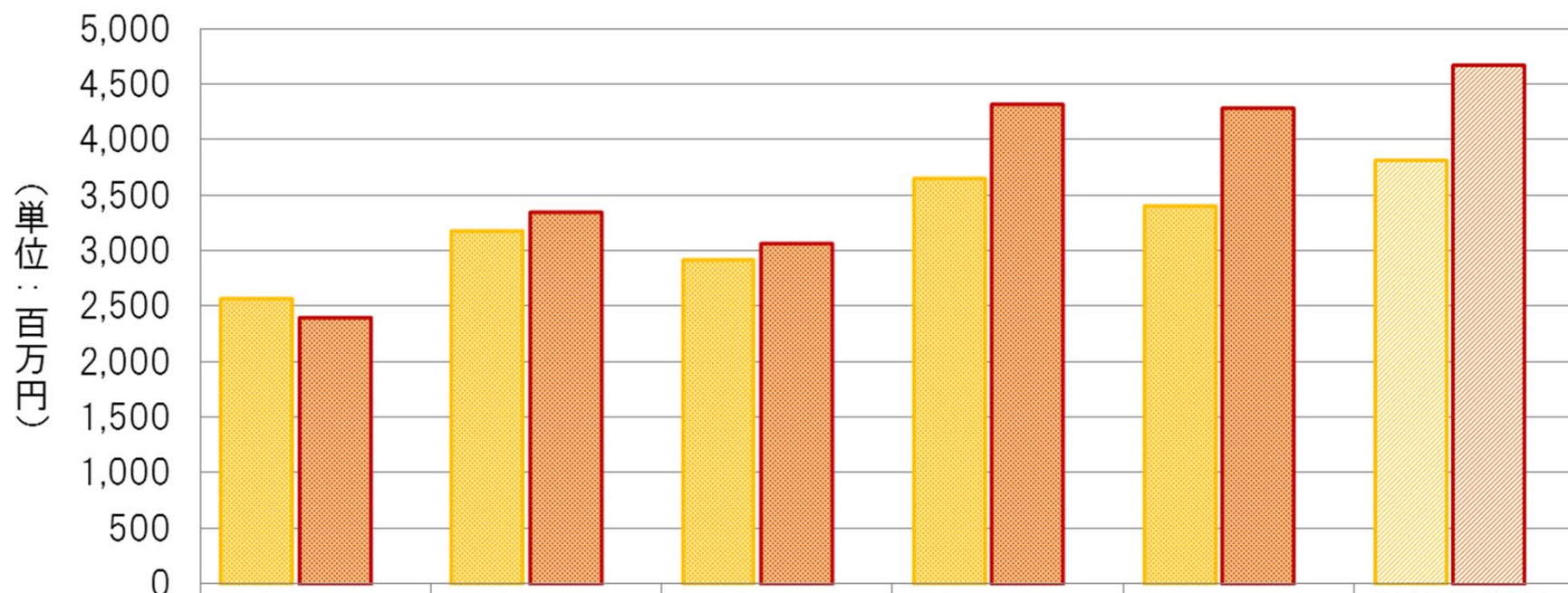
■ 単体	2,546	2,633	2,402	3,214	3,389	3,383
営業利益率	18.8%	18.4%	16.3%	19.3%	20.1%	19.4%
■ 連結	2,536	2,742	2,651	3,984	4,578	4,316
営業利益率	16.2%	15.8%	14.3%	18.1%	20.6%	18.4%

通期 営業利益の推移（単体・連結）



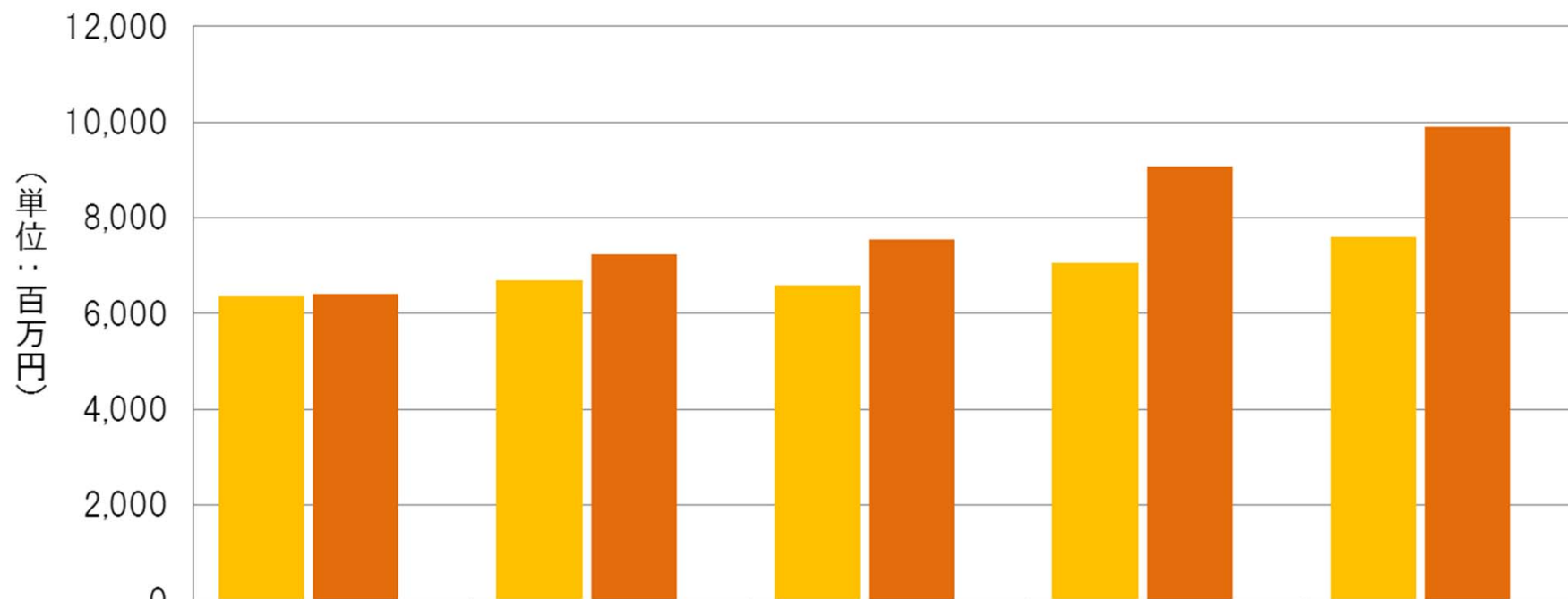
	H25/3期	H26/3期	H27/3期	H28/3期	H29/3期 (計画)
■ 単体	5,495	5,349	5,556	6,669	7,092
営業利益率	19.3%	18.0%	17.8%	19.3%	19.4%
■ 連結	5,475	5,639	6,251	8,836	9,654
営業利益率	16.3%	15.2%	15.3%	19.0%	19.3%

第2四半期 経常利益の推移（単体・連結）



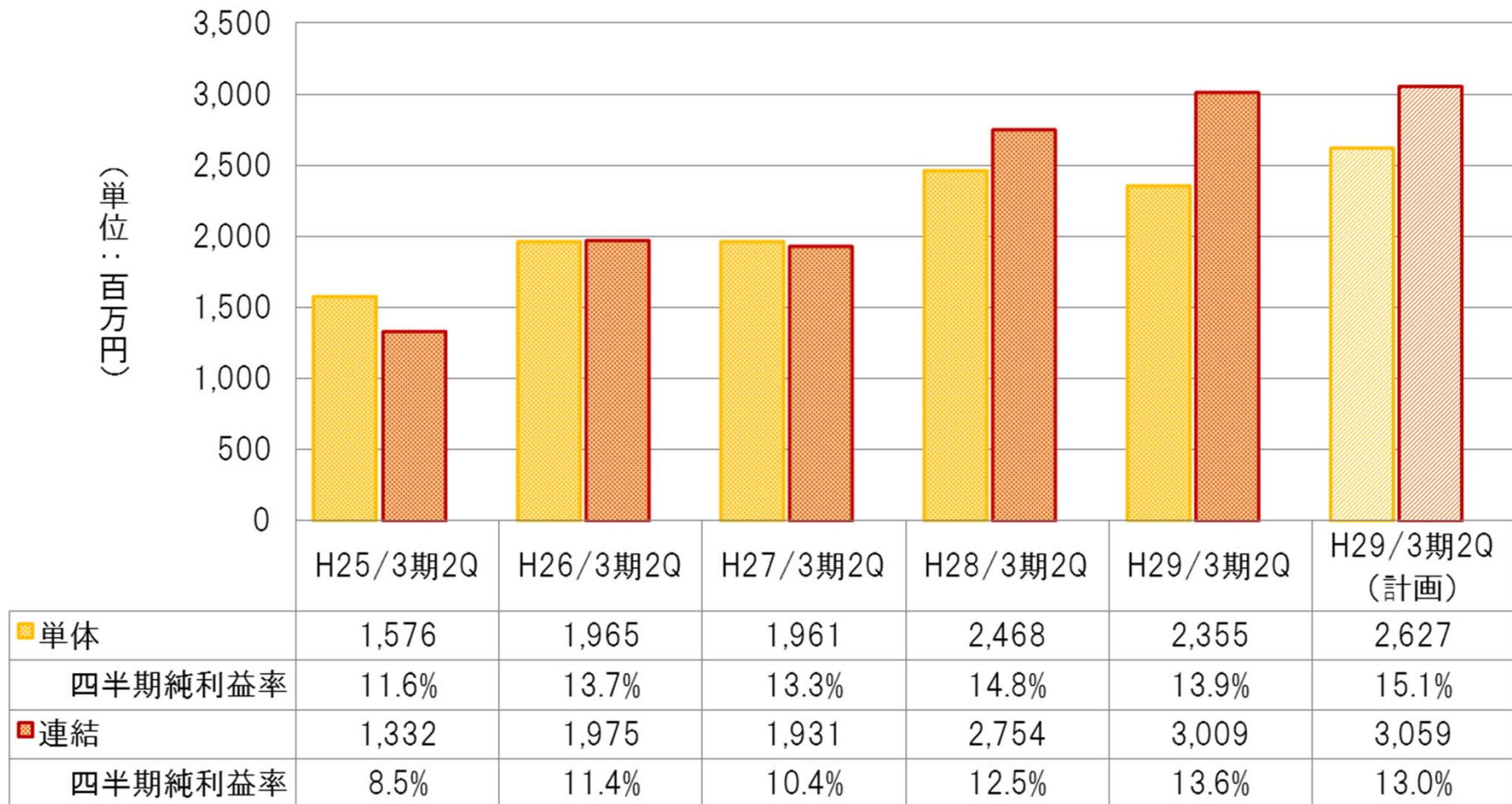
	H25/3期2Q	H26/3期2Q	H27/3期2Q	H28/3期2Q	H29/3期2Q	H29/3期2Q （計画）
■ 単体	2,571	3,178	2,916	3,648	3,399	3,822
経常利益率	19.0%	22.2%	19.8%	21.9%	20.1%	22.0%
■ 連結	2,405	3,351	3,065	4,322	4,284	4,671
経常利益率	15.3%	19.3%	16.5%	19.6%	19.3%	19.9%

通期 経常利益の推移（単体・連結）

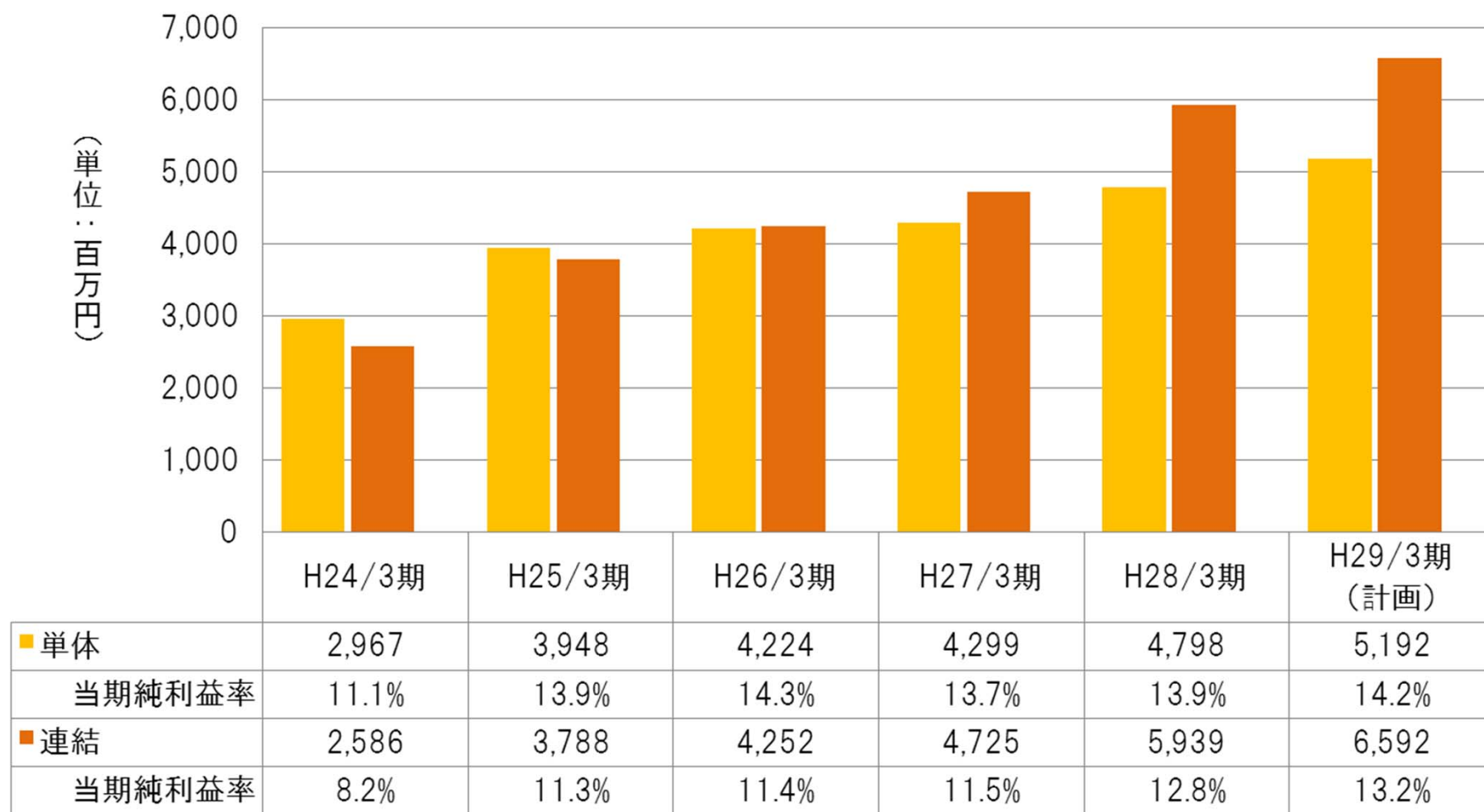


	H25/3期	H26/3期	H27/3期	H28/3期	H29/3期 (計画)
■ 単体	6,350	6,701	6,592	7,060	7,594
経常利益率	22.3%	22.6%	21.1%	20.5%	20.8%
■ 連結	6,408	7,236	7,562	9,081	9,895
経常利益率	19.1%	19.5%	18.5%	19.6%	19.8%

第2四半期 親会社株主に帰属する 四半期純利益の推移（単体・連結）



通期 親会社株主に帰属する 当期純利益の推移（単体・連結）



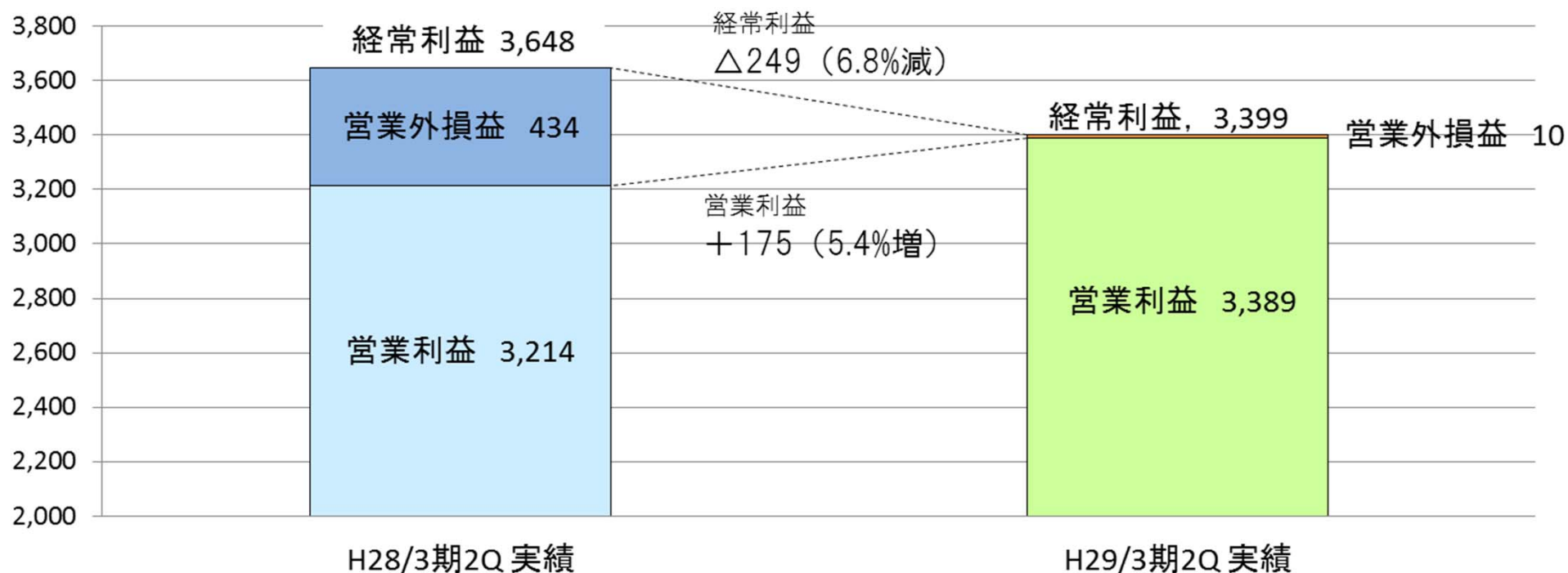
【前期比較】 単体業績の概要

■売上高

単体の売上高は16,901百万円、前年同期比232百万円増(1.4%増)となりました。

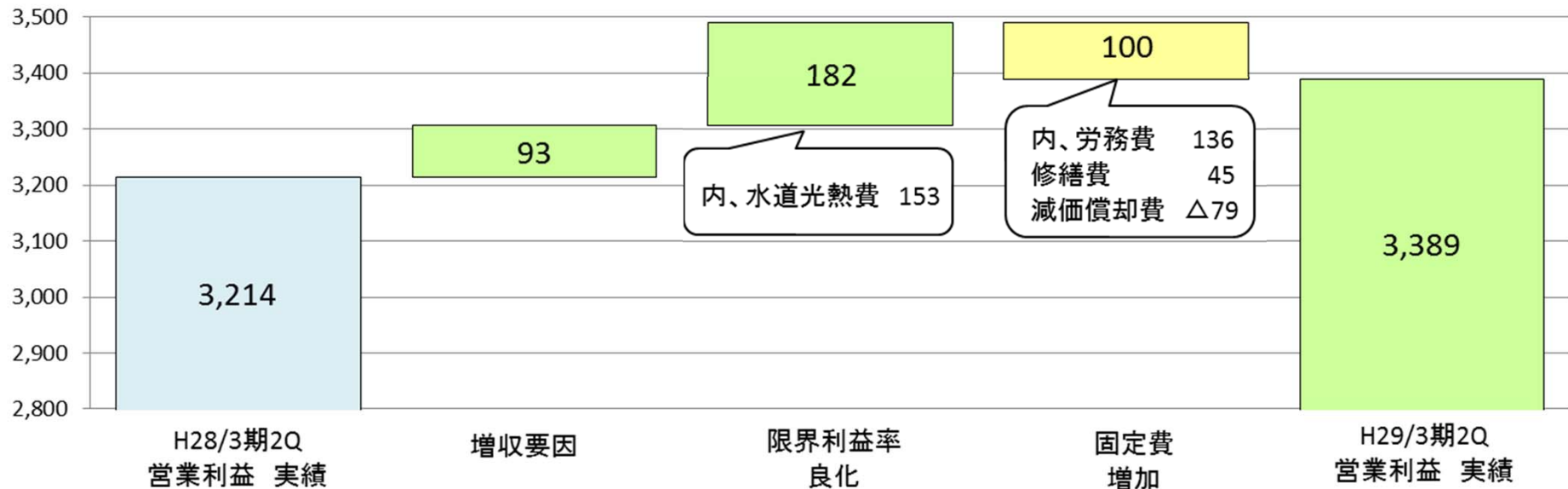
■利益

(単位：百万円)



【前期比較】単体業績の概要〔利益変動要因〕

■ **営業利益** …3,389百万円 前年比175百万円(5.4%)増加 (単位：百万円)



■ **経常利益** 3,399百万円 前年比△249百万円(6.8%)減少

(単位：百万円)

増加要因	営業利益増加	175
	デリバティブ評価損	139
	受取配当金等	44
減少要因	為替差損	△ 330
	為替ヘッジ	△ 115
	外貨建て貸付金評価替え	△ 111
	外貨預金評価替え	△ 51
	その他	△ 51
	合計	△ 249

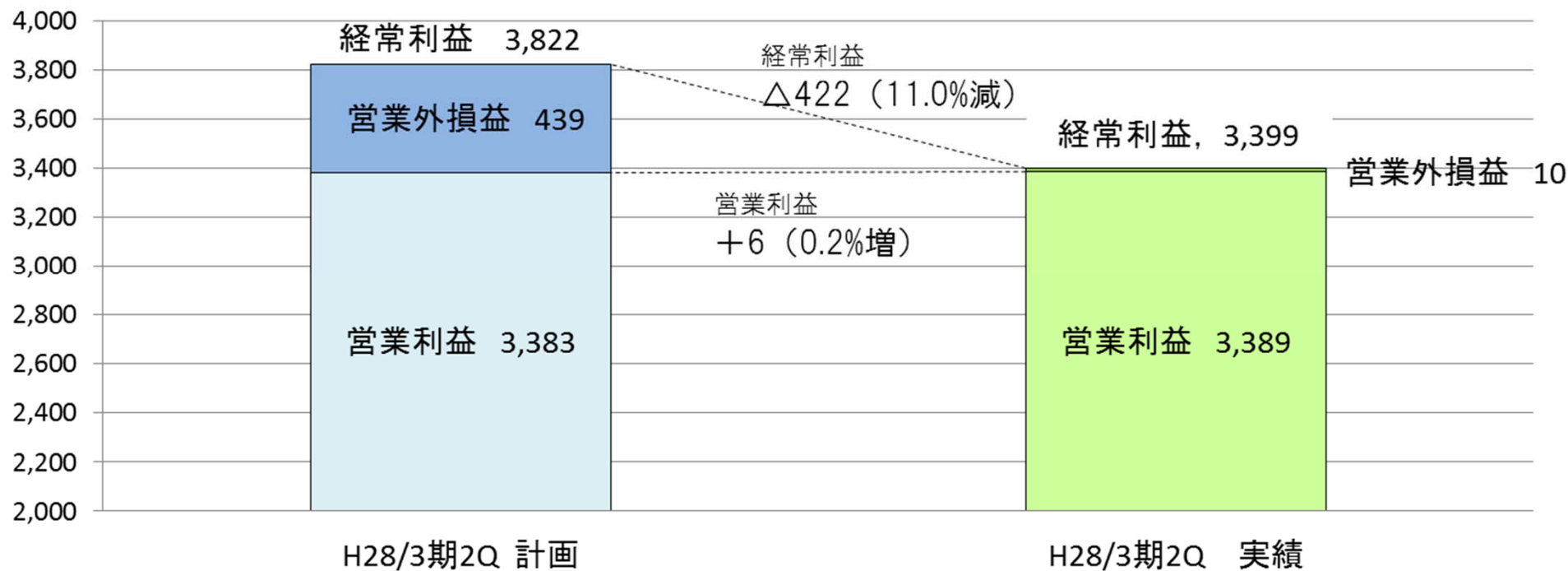
【計画比較】 単体業績の概要

■売上高

単体の売上高は計画比498百万円の減少となりました。

■利益

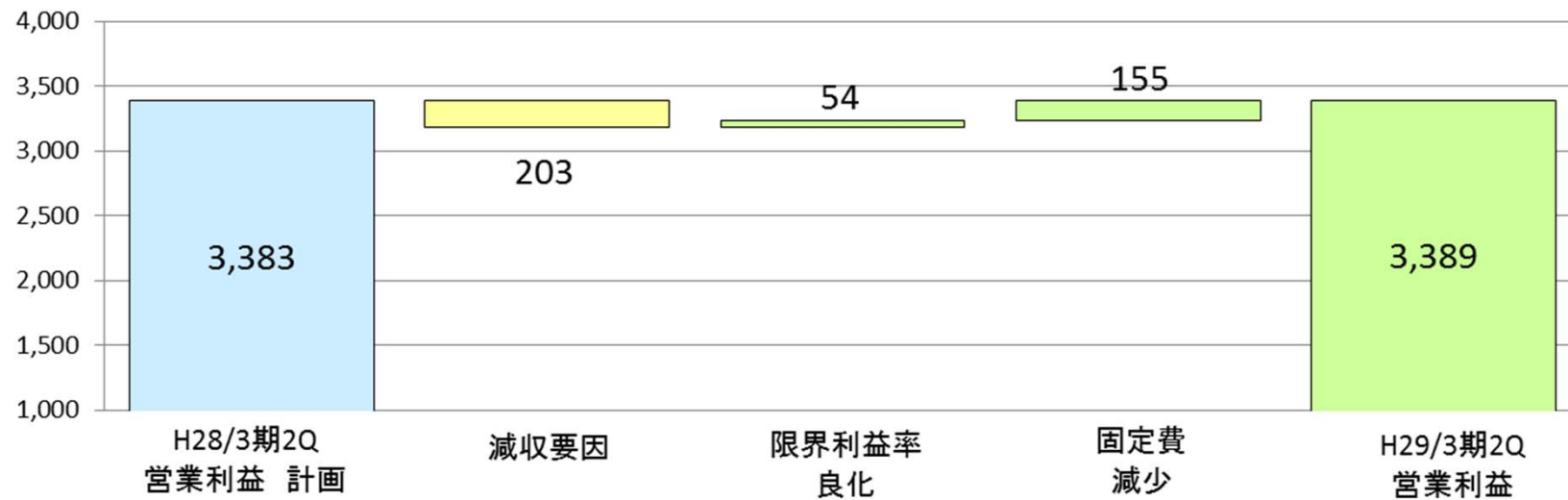
(単位：百万円)



【計画比較】 単体業績の概要〔利益変動要因〕

■ 営業利益 …3,389百万円 計画比6百万円(0.2%)増加

(単位：百万円)



■ 経常利益 3,399百万円 計画比 △422百万円(11.0%)減少

(単位：百万円)

増加要因	営業利益増加	6
減少要因	為替差損	△287
	デリバティブ評価損	△71
	その他営業外収支	△70
合計		△422

アリアケグループの「世界8極体制」



平成29年3月期第2四半期 主要子会社の概要

□ 主要子会社

(現地通貨)

◆ 米国

既存食品加工会社からの受注増が売り上げを牽引しました。外食向け販売も開始しました。一方、原料費、水道光熱費のコスト減も利益改善に貢献しました。

◆ アジア

地場の旺盛な需要を背景に中国は食品加工会社からの受注増、台湾は外食向け受注増が売上を牽引しました。

インドネシアは、平成29年夏稼働に向けて工場を建設しています。

◆ 欧州

ベルギー、フランス、オランダの3拠点連携により欧州圏内の売上を拡販、利益も改善しました。

◆ 日本

日本の子会社は、前年並みとなりました。

第2四半期 地域別実績

(単位:億円)

※子会社は連結調整後

	H29/3期 2Q(A)	H28/3期 2Q(B)	増減		増減の内訳		
			(A-B)=C	%	為替差 (D)	実質 (C-D)	%
売上高	221.8	220.6	1.2	0.6%	△ 11.3	12.5	5.7%
アリアケジャパン	169.0	166.7	2.3	1.4%	-	2.3	1.4%
子会社 計 ※	52.8	53.9	△ 1.1	-2.1%	△ 11.3	10.2	19.0%
米国	18.1	19.8	△ 1.7	-8.3%	△ 3.4	1.7	9.1%
アジア	20.5	19.0	1.5	8.0%	△ 5.4	6.9	36.5%
欧州	12.4	13.3	△ 0.9	-6.8%	△ 2.5	1.6	11.8%
日本	1.8	1.8	0.0	-5.1%	-	0.0	-5.1%
営業利益	45.8	39.9	5.9	14.9%	△ 2.7	8.6	21.6%
アリアケジャパン	33.9	32.1	1.8	5.4%	-	1.8	5.4%
子会社 計 ※	11.9	7.8	4.1	54.4%	△ 2.7	6.8	89.2%
米国	4.3	3.8	0.5	11.7%	△ 0.8	1.3	33.0%
アジア	6.2	5.1	1.1	21.8%	△ 1.6	2.7	53.4%
欧州	1.3	△ 1.2	2.5	-	△ 0.3	2.8	-
日本	0.1	0.1	0.0	9.5%	-	0.0	9.5%
USD	102.9	122.5	-19.5	19.0%			
EUR	114.4	137.2	-22.8	20.0%			
人民元	15.5	19.7	-4.3	27.6%			
台湾ドル	3.2	3.9	-0.8	23.5%			

通期 地域別計画（連結）

（単位：億円）

※子会社は連結調整後

	売上高			営業損益		
	平成29/3期 計画(A)	平成28/3期 実績(B)	差額 (A-B)	平成29/3期 計画(A)	平成28/3期 実績(B)	差額 (A-B)
アリアケシ`ャハ`ン	364.8	344.8	20.0	70.9	66.7	4.2
子会社計※	135.8	119.3	16.5	25.6	21.7	3.9
米 国	46.2	44.0	2.2	9.8	9.6	0.2
ア ジ ア	49.6	43.0	6.6	12.6	12.2	0.4
欧 州	36.2	28.6	7.6	3.0	△0.3	3.3
日 本	3.8	3.6	0.2	0.2	0.2	0.0
合 計	500.6	464.0	36.6	96.5	88.4	8.1

USD 110.0 120.6

EUR 125.0 131.8

今後の事業計画 ①

(売上高はいずれも連結調整前のものです)

1. アリアケジャパン株式会社

国内での新たなマーケットにも注力し平成30年3月期の売上高は385億円を目指します。
平成31年3月期の売上高は405億円を計画しており営業利益率は19.5%を予想します。

2. 米 国

更なる加工食品向けの販売強化の他、外食向けにも拡販し、戦略的投資も視野に積極的な展開を図ります。平成30年3月期の売上高は58億円、平成31年3月期の売上高は67億円を目指します。

3. アジア

中国は、各業種にわたって売上を伸ばし、平成30年3月期の売上高43億円、平成31年3月期は48億円を目指します。

台湾は、需要が旺盛な外食向けの販促を強化し、平成30年3月期の売上高22億円、平成31年3月期は26億円を目指します。

4. 欧 州

平成30年3月期の欧州合計の売上高は50億円、平成31年3月期は54億円を目指します。

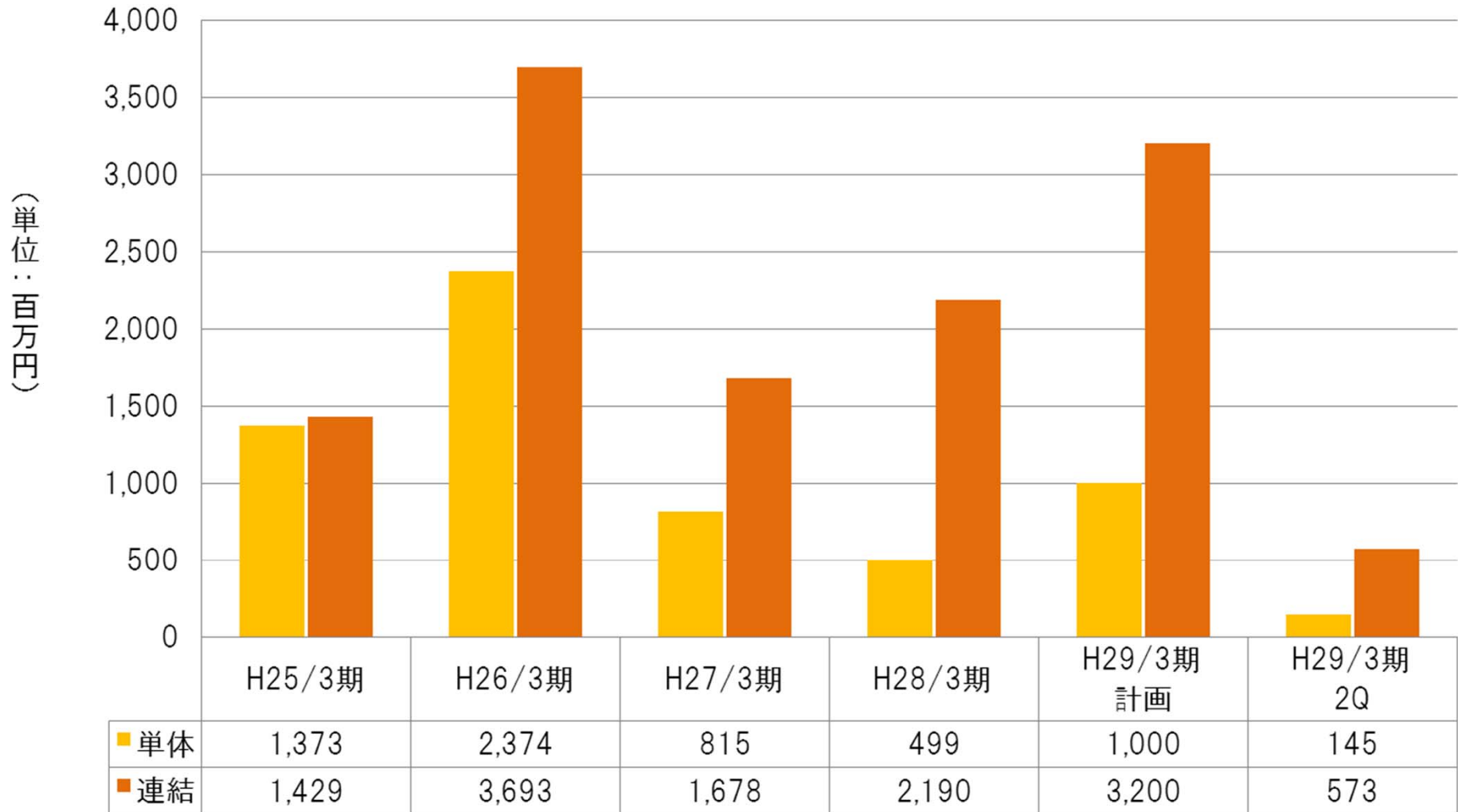
欧州内での売上増強を加速させると同時に、良質な原料の更なる日本への供給量増と、平成29年稼働予定のインドネシア工場への供給を図っていきます。

今後の事業計画 ②

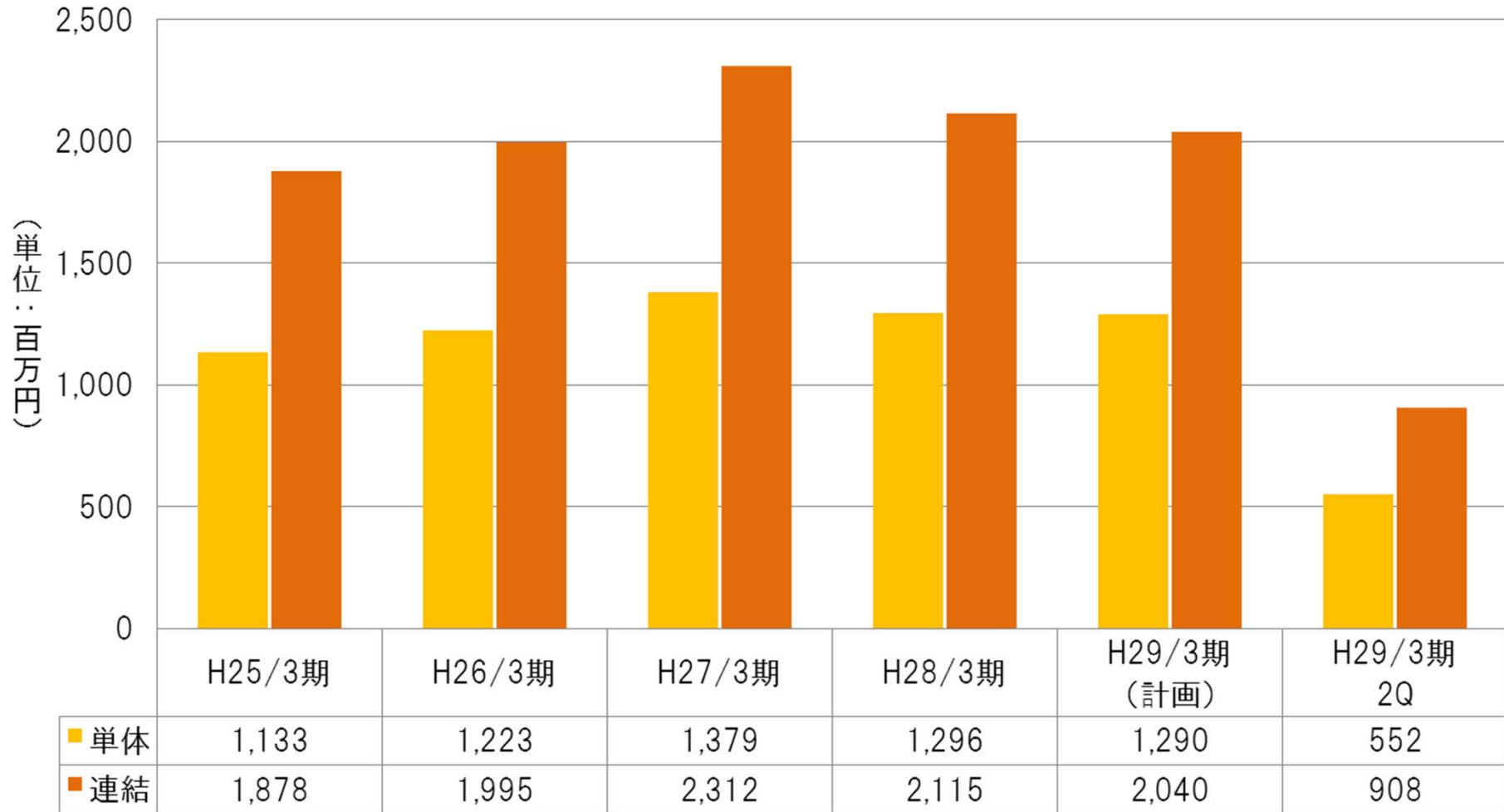
(単位:億円)

		実 績				計 画		
		平成25/3期	平成26/3期	平成27/3期	平成28/3期	平成29/3期	平成30/3期	平成31/3期
売上高	単 体	284	296	313	345	365	385	405
	連 子 結 会 社	74	96	124	144	156	184	215
	連 結 調 整	△23	△20	△28	△25	△20	△25	△30
	連 売 結 上 高	335	372	409	464	501	544	590
営業損益	単 体	54	53	56	67	71	75	79
	連 子 結 会 社	0	3	7	21	26	33	39
	連 営 結 業 損 益	54	56	63	88	97	108	118

設備投資の推移（連結・単体）



減価償却費の推移（連結・単体）



本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
本資料に記載されている業績予想（計画）及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想（計画）にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。

本日は、ご清聴有難うございました。